

不動産メディアのシー  
スタイル(東京都中央区)  
が5月に調査した

婚に相当する関係として  
証明書を発行する制度を  
始めている。

「LGBT(同性  
愛者)のパートナ  
ーとの住生活」で  
は、パートナーが  
いる同性愛者が、  
回答者124人の  
うち58・1%にの  
ぼることがわかっ  
た。

パートナーがい  
る人のうち、  
「同棲どうせいしていな  
い」と答えた人が  
全体の84・6%を  
占めていた。

同性カップルは  
賃貸住宅を借りづ  
らいと言われてい  
る。別れて単独で  
の居住となったと  
きに家賃支払いが  
滞るリスクがある  
ためだ。そうした  
事情を受けて、都  
内では渋谷区と世田谷区  
が、同性パートナーを結  
人も多数存在した。

# 同性愛者の約半数「パートナーあり」

シースタイル

パートナーがい  
る者のうち、「同  
性パートナーシッ  
プを認めている自  
治体に居住してい  
る」と答えた人は  
8・5%とごくわ  
ずか。だが「申請  
したい」と答えた  
人は31%、「パー  
トナーがいれば申  
請したい」が55・  
2%もいた。

また、「同性カ  
ップルは賃貸住宅  
が借りにくい」と  
答えた人が28%も  
いた。他にも、相  
続税の軽減や遺族  
年金の受け取りな  
どが認められない  
ことや、医療や福  
祉で家族同等の扱  
いを受けられない